

施策評価調書〔途中評価(平成30年度実施)〕

長崎県総合計画における位置付け

作成年月日		平成30年10月26日	長崎県総合計画記載ページ	70	P
将来像	次代を担う『人財』豊かな長崎県	施策主管所属	教育庁高校教育課		
基本戦略名	5 次代を担う子どもを育む	課(室)長名	課長 林田 和喜		
施策名	(5) グローバル化社会を生き抜く力を持った人材づくり	施策関係所属(部局名課名)	教育庁義務教育課		

1 施策の内容

<p>【取組の概要】</p> <p>グローバル化が急速に進展する社会において、国際的な視野を持って、自らの考えを伝え、主体的に行動できる人材の育成に取り組みます。</p>	<p>【めざす姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> 豊かなコミュニケーション能力を持ち、グローバル化する社会で活躍する人材が育っている。 我が国の郷土の伝統・文化や自然を誇りに思い、国際社会を生き抜く力を持った子どもが育っている。
---------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2 施策の進捗状況と評価

施策の進捗状況の評価																						
□A：順調 □B：やや遅れている ■C：遅れている																						
<p><<これまでの成果>></p> <ul style="list-style-type: none"> ●英語、中国語、韓国語の海外研修を実施することにより、参加生徒が高い語学力とグローバルな視野を身に付けている。 ●外国語の授業等において外国語指導助手（ALT）を積極的に活用し、生徒の学習意欲が高まり、異文化理解が深まっている。 ●ALT等を活用して、本県独自の「高校生英会話力テスト」を実施し、生徒の英語による発信力が高まっている。 ●生徒の国際的教養を高める取組を進める高校を支援することにより、対象校において高校又は大学で長期海外留学を希望する生徒の割合が68%（H27）から71%（H29）に増加している。 <p><<進捗状況に課題がみられる分野>></p> <ul style="list-style-type: none"> ●生徒の言語活動を中心とした英語授業を推進し、生徒の英語によるコミュニケーション能力は向上しているが、今後更に伸ばしていくためには、授業等で英語を話す機会を充実させていく必要がある。 ●「中学校卒業時に英検3級程度以上の英語力を持つ生徒の割合」については基準年（H26）の31.3%に対し、H29の実績が38.8%であり、着実に伸びてはいるものの、目標値には、若干至っていない状況である。 ●県学力調査（英語）で6割以上理解している中学生の割合については、英語教育の高度化への対応に伴い、県学力調査問題の内容を大きく見直したためH29の実績が24.5%と基準年（H27）の51.9%を下回る結果となった。 	<p>高校卒業時に英検準2級程度以上の英会話力を持つ生徒の割合</p> <table border="1"> <caption>高校卒業時に英検準2級程度以上の英会話力を持つ生徒の割合</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>目標値 (%)</th> <th>実績値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26 (基準年)</td> <td>85</td> <td>79.1</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>88</td> <td>82.6</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>89</td> <td>82.6</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>90</td> <td>89</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>90</td> <td>89</td> </tr> <tr> <td>H32</td> <td>90</td> <td>90</td> </tr> </tbody> </table>	年度	目標値 (%)	実績値 (%)	H26 (基準年)	85	79.1	H28	88	82.6	H29	89	82.6	H30	90	89	H31	90	89	H32	90	90
年度	目標値 (%)	実績値 (%)																				
H26 (基準年)	85	79.1																				
H28	88	82.6																				
H29	89	82.6																				
H30	90	89																				
H31	90	89																				
H32	90	90																				

3 施策の成果指標の進捗状況

指標	基準年	H28	H29	H30	H31	H32	最終目標(年度)	進捗状況の分析	
								進捗状況	遅れ
高校卒業時に英検準2級程度以上の英会話力を持つ生徒の割合	目標値①	88%	89%	90%	90%	90%以上を維持	90%以上を維持(H32年度)	平成28年度から「長崎県高校生英会話力テスト」を作成し、ALT等を活用して県立高校生に対する英語のインタビューテストを実施しているが、平成28年度から29年度にかけ実績値は上昇しているものの目標は達成できていない。基準年と平成28年度以降では異なるテスト問題や評価基準を作成しており単純比較はできないが、県立高校において発信力の向上を図る授業を推進し、テスト問題や実施方法等を改善しながら、全ての県立高校で効果的にテストを実施する等、目標達成を目指す。	
	実績値②	85.1% (H26年度)	79.1%	82.6%					
	②/①		89%	92%					

4 新たな課題や社会情勢の変化等

- 訪日外国人の数が急速に増加するなど、グローバル化の進展が顕著である。
- 平成30年3月に高等学校の新学習指導要領が公示され、新科目「論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」が新たに導入されるなど、「話す」「書く」といった英語の発信力を高める指導がこれまで以上に求められている。
- 平成32年度から実施予定の「大学入学共通テスト」において英語4技能を測る民間検定試験の導入が決定している。
- 以上のように、外国語教育を取り巻く環境がめまぐるしく変化している。今後進展するグローバル社会をたくましく生き抜いていく人材を育成するためには、外国語教育において「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能をバランスよく育成することが求められており、これまで以上に生徒の英語による発信力を身につけさせる必要がある。



5 課題を踏まえた今後の対応方針

- 外国語（英語、中国語、韓国語）を実践的に学ぶ機会を提供するために実施している海外語学研修を継続して実施し、研修中の授業、キャリア研修、生徒交流等の内容の充実を図っていく。
- 各種研修等を通して教員の指導力を向上させるとともに、「長崎県高校生英会話力テスト」の内容を充実させ、新しい大学入試等に対応できる発信力を備えた生徒を育成する。
- 「英語で発信できるグローバルバイオニア育成事業（H30～H32）」により、英語の民間検定試験を県立高校生に受検させ、生徒の英語力を客観的に分析し、教師の指導力及び生徒の英語力の充実を図る。

6 施策を推進する事業群の状況

事業群①「子どもたちが直接外国語に親しむ体験活動の推進」	事業群評価調書 5-(5)-①②③	参照
事業群②「小・中・高を通じた外国語教育の充実」	事業群評価調書 5-(5)-①②③	参照
事業群③「高等学校における特色ある国際理解・外国語教育の推進」	事業群評価調書 5-(5)-①②③	参照